

育連だより

<http://web-k.jp/ikuren/>

ありがとうございました

前理事長 辻 正人氏



私こと昨年10月に心筋梗塞を患い、入院・手術、12月退院静養。現在に至っています。入院中は色々有難うございました。静養に励みましたが、医者からの勧めもあり辞任することを決意しました。

私が育連を引き継いでから世間の景気が悪く、4団体への助成金も育連予算のやりくりが少なく、済むように、後任の理事長さんをお願いしたいと思っておりました。幸い小林さんと聞き安心しました。

育成連盟の発展は4団体の活動に懸かっています。4団体のますますの発展を祈念して辞任の挨拶とします。

夢を持って歩けるように

新理事長 小林 美年子
(ガールスカウト川崎市連絡会会長)



平成21年度の川崎市青少年育成連盟理事長をお引き受けすることになりました。育成連盟は永年教育委員長の統括を得てきましたが、民間へ移行してからは、子ども会連盟長が理事長をお勤めくださいました。

この度、加盟団体の輪番制との声があり、小林がお引き受けいたしました。私が育成連盟のお手伝いを始めてから20年以上が過ぎました。

青少年を取り巻く環境は何時の時代も厳しいものがあります。まず、大人が範となるよう心がけ、青少年たちが夢を持って明日に向かって行けるように努力してまいりたいと思っております。

カブ隊 夏のキャンプ

日本ボーイスカウト川崎第54団 カブ隊 陶山 優子

ビーバー隊とカブ隊は8月に2泊3日で、多摩川源流の小菅村へキャンプに行きました。

キャンプ場への入り口はつり橋。渡ると清流と森の別世界、小雨の中地元のお爺さんの話を聴き、枝打ちされた木を自由に使い、小屋づくりを満喫。

次の日は、キャンプ場内の沢探検へ。水の勢いに負けないで、石を拾い裏に隠れている川虫を、箱メガネで泳いでいるヤマメを見た。極めつけは、ライブジャケットにヘルメットをつけ、自ら沢を

流れた。水の冷たさに泣いた子も「もう一度」の大合唱。お昼は、プチトマトも流れる流し素麺。皆、必死で箸を使いたくさん食べた。

初めてのドラム缶風呂に、いい湯だと満足げ。自ら掴み取りし、調理したイワナの串焼きをガブリと食べた。小菅村でのダイナミックな自然体験に、スカウトの顔が輝く。

多摩川でつながった小菅村の温かなご協力に感謝し、無事川崎に帰ってきました。



ヤマメ、見つけた!



つめた〜い!



いい湯だな



流しソーメン!

2009年 ビーバーまつり

日本ボーイスカウト川崎第22団 ビーバー隊長 ビーバーまつり実行委員長 小澤千昭

去る6月28日(日)、宮前区の土橋小学校で今年度のビーバーまつりが盛大に開催されました。会場となった土橋小学校は、2006年に開校した天然芝の校庭をもつ新しい小学校です。

「ビーバーまつり」当日は、梅雨時でもあり朝から雨が今にも降り出しそうな空模様。朝の天気予報でも「ビーバーまつり」終了まで天気がもつかきわどい状態。「晴れ男」を自認する私としては、何とか天気が持ってくれればと思っていましたが、不覚にも「備えよ常に」の精神で無意識のうちに傘を持ってきてしまった。しかも、地区役員の中に「雨男」が……！案の定、予定より早く雨が降り出してしまい、校庭から体育館へ急遽変更する事態となってしまいました。残念！しかしながら午前中に天然芝の校庭を使い、スカウト77名、未入隊者47名、リーダー41名、保護者等63名、合計約230名の参加を得て、盛大にビーバーまつりを行うことができました。

今年は、敢えてテーマを決めずビーバースカウトの「やくそく」と「きまり」を励行することを第一義として仲間意識を持ってもらうようプログラムを構成しました。

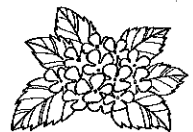
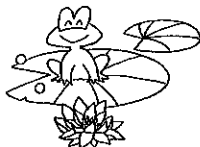
午前中は天然芝の校庭で「猛獣狩り」(ビーバーの仲間探し)に始まり、VSスカウトが背中に背負ったバスケットにボールを投げ込む「ビーバー・バスケット」、白色と黒色に塗られた駒を引っ張り返す「オセロ返し」、恒例の「しっぽ取り」が行われ、会場はスカウト達、ご父兄の皆さんの元気な歓声に包まれました。

昼食後は雨が降り始めたため、急遽体育館に場所を移し5つのグループが「的当て」、「ビーズアクセサリー」、「釣堀り」、「カーリング」、「輪投げ」とスカウトの気を引くゲームを準備しました。どこも「お土産」があるとあってスカウトに大人気でした。

午後は体育館で「宝探し」を行いました。1回に1人1枚(折り紙)しか持ってくるのが出来ないゲームです。スカウトそれぞれが不安そうな面持ちで審判員のところ「折り紙」を持ち込み、一喜一憂しながら閉会式となりました。

最後になりますが、ビーバーまつりの企画、準備、運営等に尽力して頂いた皆様、どうもありがとうございました。

また、来年もがんばりましょう。



川崎市子ども会連盟野球大会 優勝おめでとう！

浜町1・2丁目子ども会野球部 主将 国本紘成

浜町1・2丁目子ども会野球部は、過去に一度もこの大会での1勝はありませんでした。まずは1勝を目標に初戦をがんばりました。相手チームは北部の強いチーム。気持ちで負けたら勝負は負ける！と自分に言い聞かせて戦いました。

苦戦しながらも初戦突破。とても苦しい試合だったと思います。次の日は難なく勝てると思いましたがやはり区代表で出場しているので、そう簡単には勝たしてくれず、これもやっとの思いで勝利することが出来てうれしかったです。

決勝の相手は冬に練習試合で引き分けたチーム。投手、打撃ともにもすごいチーム。当日は監督不在でとても不安でしたが、劇的な勝利で優勝で

きてとても良かったです。

閉会式で優勝旗をもらった時、はじめて優勝した実感がわきました。厳しく辛い練習の成果が優勝出来た事だと思います。もっと沢山練習して残りの試合全てを、優勝出来たらいいなと思います。



発団50周年記念キャンプ

ガールスカウト神奈川県第14団 ジュニア5年 矢野 葉名



1日目は乗馬体験をしました。並んでいる時はドキドキしてたけど、馬に乗ったら楽しくて笑ってしまいました。KEEPキャンプ場に到着してアイスクリームを食べました。草原でおにごっこや花一もんめや草の上をゴロゴロ転がって遊びました。

2日目はほうとう作りをしました。おいしく作られたので好きになりました。午後はハイキングに行き、木のブランコに乗ったり拾った木や葉で

クラフトを作りました。夜のキャンプファイアは、げきですごくきんちょうしたけど、はっきりと声を出せたのでナレーター役になれたと思います。晴れていたのでも夏の大きな星やたくさんの星が見えました。

3日目はさく乳体験をしました。前は初めてだったのであまり出せなかったけど、今回はたくさん乳が出ました。都会では体験できないことがいろいろできたし、しおり通りにできたのでうれしかったです。

清里の楽しい思い出ができてよかったです。

第49回 海洋少年団全国大会

川崎海洋少年団 山岡 修



8月1日(土)、2日(日)と愛媛県松山市の中島で全国大会が開催されました。大会を島で開催することは初めてのことです。青森から鹿児島までさらに、海外からの参加者もあり約850名の海の子が集いました。

手旗とロープ競技に出場しましたが、結果はさておき、またがんばろうという気持ちになってくれればと思っています。

大会終了後は、遠路はるばるやってきたので遊

んで帰ることにしました。3日(月)は大会が用意したオプションツアーに参加し、道後温泉を見学し、坊ちゃん電車に乗り、松山城に上りました。4日(火)は「えひめこどもの城」へ行き、ポプスレーで滑走し、てんとう虫のモノレールに乗り、くるくるボートは力いっぱい漕ぎました。

そのほかにも遊ぶところがあり、飛行機の時間まで遊びました。

参加者全員元気で帰ってこられたことが一番良かったことです。



第41回 指定都市子ども会ジュニア・リーダー大会

川崎市子ども会連盟 SLCむげん 青野 千尋

毎年、夏に行われる指定都市大会。今年は北九州市の“玄海青年の家”で8月7日～9日の日程で行われました。川崎市からは、6名が代表として参加をしました。今回の大会テーマは『“全力突燃”「磨け!! 黄金JL魂」』これは、参加者一人一人がJLとして持っている想いを伝え合い、JLへの熱い気持ちを磨くというテーマになっています。

主な活動としては、ゲーム交歓会・お悩み相談・カヌー体験・野外調理・キャンプファイア・市内散策・さよならパーティーの7つです。その中でも、お悩み相談はJLにとって考えさせる濃い内容だったと思います。前全子連事務局長の宇田川光雄氏を講師にお呼びし、悩み相談会が始まりました。各都市のJLが混ざった少人数グループ

で自分の思いを伝え合い、みんなで話し合いをし、共感を得たり、自分の意見などを交換していました。参加者は「JLになってからの想い・なぜJLを続けているのか・JLに入ったきっかけ」などを自分と向き合い話し合いをしている様子でした。相談会が終わりJLの顔を見ると、自信をもった顔つきの参加者が多く見られました。同じJLとしてみんなが持っている想い・悩みを打ち明けたみんなはとてもいい顔をしていました。もちろん、ほかにもJLにとって学べるのがたくさんある活動ばかりだったと思います。

この研修会に参加した代表のJL達は、きっとさまざまな思いを持ち各都市に帰っていったと思いますが、その想いを忘れないでこれからのJL活動に活かして欲しいと思います。

元気いっぱい力を合わせてたくさんのチャレンジ

ガールスカウト川崎市連絡会 ブラウニーの集い 17団 山本 瑩子

8月31日にガールスカウト川崎市連絡会主催ブラウニーの集いを東京都児童会館で行いました。

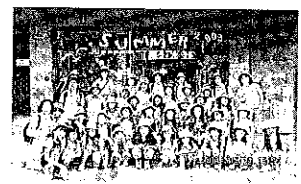
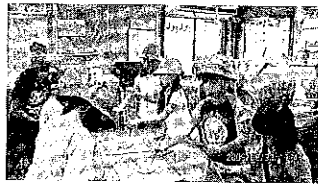
当日は、台風接近のため、8月最後の日曜日にしては館内はすいていました。参加者は小学校1年から3年までのブラウニー31名と連絡会長他9名のリーダーです。開会式後、6つのパトロールに別れて行動しました。スカウトたちで相談して、どの階で何をやりたいか話し合い決定してから活動していました。木工で「のぼりんぼ・小箱」紙工作で「砂絵」リサイクル工作で「ペーパーフラワー」「貝殻で作る夏の思い出」音楽ひろばでピアノやドラムマリimbaの自由演奏また、フラフープ・輪投げ・剣玉・パソコン・人体迷路など思い切り楽しい活動をしその後、昼食を食べました。時間の配分や、やりたいことの話合いなど、短い間にそれぞれの考えを出し合い協力することや調整する力を身につけたようでした。あるパトロールはやりたいことが二つに別れたとき話し合い、手の空いているリーダーにお願いし

て別れて行動したいと考えを申し出てきました。すばらしい子どもたちの考え方と感心しました。

昼食後はホールで影絵を見ました。途中で影絵を実際に動かすことを体験した子もいました。

手の動きがおしりをかいているように見えるため会場は大爆笑で盛り上りました。最後に集合写真を撮って解散しました。子どもたちの感想は、「いろんな団の人とお友達になれてよかった。」「工作が楽しかった。」「影絵が面白かった。」「自分が好きなやりたいことができて良かった。」などでした。

子どもたちにとって満足できた楽しい一日が過ごせたのではないのでしょうか。



誰でも何でも相談できるよ！ ～相談窓口の紹介～

学校や子どものこと、家族のことなど、何か困ったことがあったら、気軽に電話で相談してみてもいいでしょうか。

教育相談			
総合教育センター	24時間電話相談(年末・年始は休み)	毎日24時間受付	TEL.522-3293
総合教育センター	子ども電話相談(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～16:30	TEL.844-6700
総合教育センター	溝口電話相談(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～16:30	TEL.844-3700
総合教育センター	塚越電話相談(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～18:00	TEL.541-3633
総合教育センター	不登校家庭訪問相談(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～16:30	TEL.522-3534
教育委員会	教育相談室(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～16:15	TEL.200-3288～9
教育人材センター	「やまびこ相談」(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:30～15:30	TEL.435-7474
児童・青少年相談			
児童・青少年電話相談	(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 9:00～20:00	TEL.877-8107
児童相談			
中央児童相談所	(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 8:30～17:00	TEL.877-8111
南部児童相談所	(土・日・祝日・年末年始は休み)	月～金 8:30～17:00	TEL.244-7411
思春期保健相談			
思春期保健電話相談	(月～金・日・祝日・年末年始は休み)	土 13:00～17:00	TEL.877-8469
子どもの人権相談			
人権オンブズパーソン	(日・祝日・年末年始は休み)	月・水・金 13:00～19:00 土 9:00～15:00	TEL.813-3110 TEL.0120-813-887
いじめなどの相談			
川崎いのちの電話(こころのホットライン)		毎日24時間受付	TEL.733-4343
児童虐待防止センター		毎日24時間受付	TEL.0120-874-124

発行 川崎市青少年育成連盟
事務局 〒213-0001 高津区溝口1-6-10
生活文化会館(てくのかわさき)3階
TEL 044-811-2125 FAX 044-811-2126

青少年団体への加入申し込み、お問い合わせは、
川崎市青少年育成連盟事務局へ

印刷 有限会社 アキプリント社